



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5261 URL http://www.resol.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大澤 勝 TEL 03-3344-8821
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,918	△6.2	101	△24.5	67	△21.8	33	△25.7
29年3月期第1四半期	5,245	10.3	134	22.4	85	35.4	44	21.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 32百万円 (△31.9%) 29年3月期第1四半期 47百万円 (21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.60	—
29年3月期第1四半期	0.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	31,800	11,618	36.5	208.70
29年3月期	32,011	11,864	37.0	213.13

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 11,593百万円 29年3月期 11,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△1.2	1,300	△28.5	1,700	3.6	1,400	6.2	252.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	55,642,000株	29年3月期	55,642,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	90,412株	29年3月期	89,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	55,552,048株	29年3月期1Q	55,554,198株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第124回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 5円00銭（注）
- 2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 25円20銭

（注）株式併合考慮前に換算した配当額です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな景気回復傾向にあるものの、個人消費が伸び悩みをみせ、新興国経済の減速、欧米の不安定な政治動向への懸念など海外経済の不確実性の高まりから、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループでは、ホテル・ゴルフ場等の運営事業において、「顧客満足度の向上」を目指し、品質改善に注力するとともに、「たくさんのお客様に何度でも喜んでいただく」商品企画やサービスの拡充を図り、「いきがい・絆・健康・くつろぎ」をテーマにした商品の提供をまいりました。

ホテル運営事業では、ビジネス・観光需要の取込み、インバウンドの集客強化により宿泊者数は増加するとともに、ハード・ソフトの品質改善を進め、ホテル全体の稼働率・単価が順調に推移いたしました。ビジネス需要等の集客が順調に推移したことにより、宿泊客数は前年を上回りました。

ゴルフ運営事業では、「健康・絆」の企画商品、健康イベント企画を拡充し、満足度向上を図ることにより、入場者は前年を上回りました。また、南栃木ゴルフ倶楽部(栃木県)では、初心者でもゴルフを始めやすく、何回も楽しめるように、居心地の良い空間とシンプルなサービスを提供する「Enjoy! Golf」は、ゴルフプレーに特化した新たなゴルフスタイルとして周知を図るとともに、集客強化に努めました。

開発事業においては、地域創生推進(CCRC)事業では、千葉大学及び千葉県長柄町と、リソル生命の森での「大学連携型CCRC」の事業化を進めました。再生エネルギー事業では、「瀬戸内ゴルフリゾート」の隣接地での売電が順調に推移するとともに、福島県のゴルフ場において、約35メガワットの大型の開発を進めてまいりました。

福利厚生事業では、働く人々の「健康」と「幸せ」を実現するため、多彩なメニュー・サービスの拡充を図り、魅力あるプログラムを提供し、会員企業における「健康経営®」支援に向けたサービスの拡大を図りました。

リゾート関連事業では、ゴルフ・リゾート会員権の相場低迷はあるものの、安定した需要と採算の見込める法人取引中心の営業活動に注力するとともに、別荘や保養所等のリゾート不動産では、人気エリアの優良物件を厳選し仕入強化を図りました。

当第1四半期連結累計期間は、売上高は4,918百万円(前年同期比6.2%減)、経常利益は67百万円(前年同期比21.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は33百万円(前年同期比25.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、31,800百万円となり、前連結会計年度末に比べて210百万円減少しております。これは主に売掛金の減少等によるものであります。

負債につきましては、20,181百万円となり、前連結会計年度末に比べて34百万円増加しております。これは主に短期借入金の増加等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月12日に公表いたしました「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697,929	1,793,116
売掛金(純額)	1,696,323	1,125,797
商品	123,139	123,968
販売用不動産	3,170,331	3,178,480
貯蔵品	64,541	77,868
未収入金(純額)	187,499	182,558
その他(純額)	1,164,236	1,293,889
流動資産合計	8,104,002	7,775,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,302,344	4,254,401
土地	14,530,218	14,531,061
その他(純額)	815,652	896,284
有形固定資産合計	19,648,214	19,681,746
無形固定資産		
のれん	1,624,028	1,589,222
その他	552,824	526,021
無形固定資産合計	2,176,853	2,115,244
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	2,081,944	2,227,356
固定資産合計	23,907,012	24,024,347
資産合計	32,011,014	31,800,026

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	578,462	574,144
短期借入金	800,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	4,275,547	4,248,558
未払法人税等	189,521	48,524
賞与引当金	147,406	78,016
役員賞与引当金	15,000	15,000
その他	2,145,908	1,787,947
流動負債合計	8,151,845	8,852,191
固定負債		
長期借入金	5,034,320	4,437,435
預り保証金	5,496,978	5,400,295
退職給付に係る負債	532,304	533,154
従業員特別補償引当金	103,500	92,500
資産除去債務	105,755	90,782
その他	722,031	775,226
固定負債合計	11,994,890	11,329,394
負債合計	20,146,735	20,181,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,401,700	2,401,700
利益剰余金	5,221,864	4,977,517
自己株式	△19,762	△20,095
株主資本合計	11,551,890	11,307,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,182	20
土地再評価差額金	299,476	299,476
退職給付に係る調整累計額	△13,482	△12,982
その他の包括利益累計額合計	288,176	286,514
非支配株主持分	24,212	24,715
純資産合計	11,864,279	11,618,440
負債純資産合計	32,011,014	31,800,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	5,245,515	4,918,476
売上原価	1,848,922	1,674,741
売上総利益	3,396,593	3,243,734
販売費及び一般管理費	3,261,600	3,141,828
営業利益	134,992	101,905
営業外収益		
受取利息	0	0
債務消却益	1,669	319
その他	18,094	20,019
営業外収益合計	19,765	20,338
営業外費用		
支払利息	36,601	25,786
支払手数料	25,538	17,844
その他	6,838	11,561
営業外費用合計	68,977	55,192
経常利益	85,780	67,052
特別損失		
固定資産除却損	-	1,335
会員権買取消却損	26,287	11
その他	2,084	-
特別損失合計	28,371	1,346
税金等調整前四半期純利益	57,408	65,705
法人税、住民税及び事業税	41,468	35,197
法人税等調整額	△29,165	△3,409
法人税等合計	12,302	31,787
四半期純利益	45,106	33,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	121	502
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,984	33,415

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	45,106	33,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,645	△2,161
退職給付に係る調整額	631	500
その他の包括利益合計	2,277	△1,661
四半期包括利益	47,383	32,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,262	31,753
非支配株主に係る四半期包括利益	121	502

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	開発事業	福利厚生 事業	リゾート 関連事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,624,010	2,016,286	21,305	327,197	256,715	5,245,515	—	5,245,515
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,624,010	2,016,286	21,305	327,197	256,715	5,245,515	—	5,245,515
セグメント利益 又は損失(△)	366,606	222,027	18,021	△126,222	△11,501	468,932	△333,939	134,992

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△333,939千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	開発事業	福利厚生 事業	リゾート 関連事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,517,127	1,907,416	45,816	296,146	151,970	4,918,476	—	4,918,476
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,517,127	1,907,416	45,816	296,146	151,970	4,918,476	—	4,918,476
セグメント利益 又は損失(△)	332,698	212,466	37,148	△120,511	△47,981	413,820	△311,914	101,905

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△311,914千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。